

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合
静岡市葵区駿府町1-12
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyousho.jp/
e-Mail info@s-koukyousho.jp
TEL (054) 254-6900
FAX (054) 254-0814
Facebook:「静岡高教組」で検索

第468号
2021年
7月17日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

あなたも高教組へ

2面・第58回静岡県母親大会
・読者からの投稿



コロナで奮闘する職員の賃上げ、安心して働き続けられる定年延長を

人事院中部事務局、県人事委員会に要請



静岡県公務員共闘会議（静岡自治労連、県国公、静岡高教組、全教静岡などで構成）は、コロナ禍からこそ生計費を基準とした大幅賃上げ、安心して働き続けられる高齢期雇用、長時間労働・サービス残業の解消などを求め、「2021年人事院・県人事委員会勧告にあたっての要請書」を人事院中部事務局、静岡県人事委員会へ提出しました。

中部事務局、県人事委員会（名古屋）への要請にも、県公務員共闘の各代表が参加し、中部事務局からは守谷専門官が対応しました。

公務員共闘の菊池副議長（自治労連）が「公務員共闘関係労働者や教職員は感染防止対策など昼夜を分かたず働き、住民の命と暮らし、教育を守るため最前線で奮闘している。それに報いる公務員の賃上げを求め、それが民間の給与引き上げに波及し、不況を打開し経済回復につながる」と趣旨を訴え、青池事務局長（自治労連）が重点要求

6月29日の人事院中部事務局（名古屋）への要請には、県公務員共闘の各代表が参加し、中部事務局からは守谷専門官が対応しました。

公務員共闘の菊池副議長（自治労連）が「公務員共闘関係労働者や教職員は感染防止対策など昼夜を分かたず働き、住民の命と暮らし、教育を守るため最前線で奮闘している。それに報いる公務員の賃上げを求め、それが民間の給与引き上げに波及し、不況を打開し経済回復につながる」と趣旨を訴え、青池事務局長（自治労連）が重点要求

「特別支援学校は休憩や土日の振替休日も取れない」「コロナで少人数の必要が明らかになったが、教員の数が足りない。定数増が必要」と学校現場の厳しい実態を報告しました。

専門官は、「身内に教師がいるので実態はよく聞いている。教職員の多忙は改善が必要だと感じている」と意見述べました。

高教組からは「フルタイムを希望しているのに再任用短時間しか枠がない」「再任用短時間が2度破綻を指摘しました。人事院勧告が出された後、9月には改めて要請と再任用の雇用形態の制限を予定しています。

静岡高教組は、7月5日、静岡県教育長あてに、以下の要請書を提出しました。

「学校連携観戦の中止を求める要請書」

再び新型コロナウイルス感染拡大の兆しが現れる中での、東京オリンピック・パラリンピック開催には、多くの国民が不安を抱えています。

大会組織委員会は学校連携観戦を企画し、児童生徒を観戦に招待しようとしています。管理職を含めた多くの教職員や保護者、市民、医師会等からの中止を求める声が高まり、多くの学校や教育委員会が取りやめを決めています。

静岡県でも43校が感染拡大を懸念してキャンセルしたと報道されましたが、まだ50校、5680人が観戦する方針のままです。

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

静岡高教組は、7月5日、静岡県教育長あてに、以下の要請書を提出しました。

「学校連携観戦の中止を求める要請書」

再び新型コロナウイルス感染拡大の兆しが現れる中での、東京オリンピック・パラリンピック開催には、多くの国民が不安を抱えています。

大会組織委員会は学校連携観戦を企画し、児童生徒を観戦に招待しようとしています。管理職を含めた多くの教職員や保護者、市民、医師会等からの中止を求める声が高まり、多くの学校や教育委員会が取りやめを決めています。

静岡県でも43校が感染拡大を懸念してキャンセルしたと報道されましたが、まだ50校、5680人が観戦する方針のままです。

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

主張

半数超「廃止すべき」

文部科学省が今月5日、中央教育審議会の小委員会に教員免許更新新制度についての調査結果を提出しました。自由記述欄では、半数超が「廃止すべき・意義を感じない」と回答していました。改めて、現場から制度存続に厳しい批判が突き付けられた形です。

教員免許更新新制の廃止を求める

修得に寄与しているかの問いに44%が「そう思わない」と回答。講習が教育現場で役立つのかとの問いには37%が「役立つ」と答え、「役立つ」と答えている」との回答（33%）を上回りませんでした。

授業研究や教材準備の時間すら十分に取れない多忙の中で、自費による30時間の更新講習を受講しなければなりません。自分にとって必要な内容であるかな

第二に、更新手続きのミスによって教員としての身分を喪失してしまう「うっかり失効」が後を絶たないことです。

第三に、臨時・非常勤教員の確保や退職教員の任用にあたって、免許状の未更新が大きな障害となってしまうことです。今のままで教員の未配置がいつそ広がるでしょうと懸念されます。

「現場の声を集中しよう」

マスコミは10日、「文科省が廃止を検討していることが、関係者の取

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

調査では、更新講習が最新の知識・技能の第一に、更新講習受講が教員にとって大き

「現場の声を集中しよう」

マスコミは10日、「文科省が廃止を検討していることが、関係者の取

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

「県は観戦するしないを決めたり、意見を言う立場にはない」「最終的な判断は各学校長がすること」「直前までキャンセルできないよう臨機応変な対応を大会組織委員会に要望している」というのが県の姿勢だと聞きました。観戦

視座

現代の権力は、恐怖暴力的支配ではなく、規律訓練型支配。まず、同じ場所に集め、一日のスケジュールに沿って、同じことをさせ、評価をする。当然、その評価次第では、制裁もある。そして、その最強の支配装置は、パノプティコン、監獄の望遠鏡システム。看守からは囚人が見えるが、囚人からは看守は見えない。すると、囚人は常に監視されていると感じ、他人の視線が内面化される。これで、支配は完成。個人は、権力者の都合よく自動的に動く道具になる。まるで交換可能な機械の部品のように▼これは、フリーが「監獄の誕生」で言ったこと。パノプティコンが、監獄の中だけでなく、一般的な社会の中にもあることが、恐ろしいところ。学校も、例外ではありません。同じ場所、同じ時間、同じことをさせて、評価するのである。権力者の都合に「いい国民」を育てるのなら、それでよいでしょう。システムに疑問を持たず、評価の目を気にして、従順になつていきますから▼教職員評価制度導入後、評価によって賃金に差をつけられ、管理職面談が密告の場にもなり、机上のパソコンにも県教委の目が届く。今や、職員室にもパノプティコンが存在しています▼教育は、支配ではなく指導。教え子たちが、権力者の道具として誰かの人生の脇役になるのではなく、自分の人生の主人公として輝くのを援助すること。こは、やはり、譲れないところでしょう。

第58回 静岡県母親大会

「世界によって自分自身が 変えられないようにするために」 権力を監視し、チェックすることが私のテーマ



7月4日(日)に第58回静岡県母親大会が行われました。本会場の浜北文化センターに485人、県内12会場でのオンライン開催に1257人、個人でも135人の参加がありました。

記念講演は、東京新聞 社会部記者の望月衣聖子さん。「民主主義とメディア コロナ禍で見えた日本の危うさと私たちのくらし」と題するお話でした。

森元組織委員会会長の「女性の会議は時間がかかる」「大失言と海外からの批判の嵐、17万筆超の大学生らの抗議のネット署名が、政府を追い詰める質問の励みになった。」

世界158位のPCR検査体制、前年同月の売り上げの75%を保障するドイツの休業補償に比べての日本の貧弱さ。その中で「民度がちがいますから」発言での17兆円かけたGOTOキャンペーン。当然の感染拡大と「ガースー」発言で支持率急低下、ようやく停止。米紙も「はかばかしている。無責任だ」と報道。そんな中で五輪開催。権力側が隠そうとする

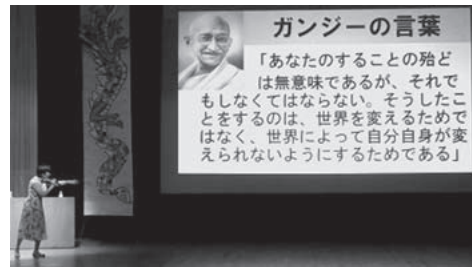
ことを明るみに出し、権力を監視し、チェックすることが私のテーマ。野党の共闘が必要、市民が声を挙げれば、質問妨害され続ける私を見る目も変わる。

憲法とは支配者の暴走を防ぐもの。「国を守る」と称して9条改悪を目論み、南西諸島に自衛隊を配備するのは「オフショア・コントロール戦略」。米中全面戦争を回避するために日中間で限定戦争を起し、中国を弱めようとするもの。巻き込まれないためにも9条に手を付けてはならない。

幣原喜重郎は「9条に込められた魂」で「世界が軍拡競争の蟻地獄から抜け出すための素晴らしい

狂人。その歴史的使命を日本が果たすのだ」と。ガンジーの言葉「それでもしなくてはならない。世界を変えるためではなく、世界によって自分自身が変わえられないようにするために」

社会部記者らしい視点で情報を含め、森や麻生の口真似で笑いを誘い、身振り手振り付きのエネルギーで内容の濃いお話でした。



みんなで21世紀の未来をひらく

教育のつどい

教育研究全国集会2021

8月19日(木)～22日(日)にオンラインで行ないます。分科会など詳しい内容は、静岡高教組にお問い合わせください。

8/19(木) 開会全体集会 19:00～20:45 / オンライン	8/20(金) 教育フォーラム 19:00～21:00 / オンライン	4つのフォーラム
●講演 教育の原点とは何か 山極 寿一さん (総合地球環境学研究所所長)	8/21(土) 分科会(1日目) 10:00～16:00 / オンライン	教科教育を中心に14の分科会 (両日を実施して行う分科会があります)
●特別企画 3・11から10年	8/22(日) 分科会(2日目) 10:00～16:00 / オンライン	教育課題を中心に17の分科会 (両日を実施して行う分科会があります)

開会全体集会・教育フォーラム
参加の事前登録はコチラ
(申し込み期間：7月15日～8月10日)
URL : <https://va.apollon.nta.co.jp/tudoi2021/>

「子どもの心を理解するために」⑤

1月10日の「全国障害児学級と学校学習交流会」における別府哲(岐阜大学教育学部長)先生の講演を何回かに分けて紹介しています。

頃、お母さんと先生に抱きつくようになり、外でよその人と同じことをしたら大変だ、どうしようという議論になります。お母さんも同意

ふれあいの文化を学校でどう保障するか

小5のひろくんは知的な遅れはあまりありませんが、非常にトラブルが多く、お母さんへの暴力も激しかった子です。1年間の入院と2年間の不登校を経て、支援学級から支援学校へ来ました。5年生になった

頃、お母さんと先生に抱きつくようになり、外でよその人と同じことをしたら大変だ、どうしようという議論になります。お母さんも同意

てくれました。彼の生い立ちから見ると、性的な要求というよりは、初めて触れ合うことが楽しいと気づき、人を求める力がついてきた、ということではないでしょうか。これまで、抱きついた時には、ちよつと待つて

こや相撲、女性の先生は握手、時にはおんぶも。授業ではフォークダンスなど、触れ合う文化を取り入れました。

拒否されず受け止められる経験を積み重ね、1年半後の6年生後半、ひろくんは自分から先生に「もう俺、抱っこいいわ。友達が「抱っこ恥ずかしいな」と言うのを聞いて気になったよ。触れ合つて安心できる感覚を十二分に持ち、もう抱っこはいいと自分から選べる力がつきました。文化祭があり

生に「もう俺、抱っこいいわ。友達が「抱っこ恥ずかしいな」と言うのを聞いて気になったよ。触れ合つて安心できる感覚を十二分に持ち、もう抱っこはいいと自分から選べる力がつきました。文化祭があり

しょうか。

触れることには生理的な快と心理的な快(人への信頼感)があります。触れ合いの文化をどう保障し、何ができるのか、ぜひ集団で議論をしましょう。

(鈴木憩子)

教育無償化、少人数学級、教職員定数増などを求める請願のための教育全国署名

32年間47億筆の署名で、やっと義務標準法が改正され、35人学級が実現しました。エアコンの設置もトイレの洋式化も特別支援学校の設置基準策定も私学の授業料への就学支援金増額による実質無償化も、この署名の成果です。

でもまだ、日本は教育に対する公財政支出はOECD 38か国中37位、大学の私費負担も多く、大学の授業料の高さは世界

で3番目。大学生は入学料と授業料で苦しみ、卒業後も奨学金ローンの返済がのしかかります。

日本の教育予算をOECD平均並み41%に引きあげれば、幼稚園から大学までの無償化、30人学級、教職員定数増、給付制奨学金の拡充が可能です。

11月中まで取り組みますので、ご協力、お願いします。

《読者からの投稿》

小手先の技術ではなく、心を繋ぐ深い言葉を大切にしたい

この春、初めての商業高校に転勤になり、24HRの副担任になった。そのクラス担任は、自分のクラスの担当授業が一つもないので、毎朝小断をするように努めている。周りのクラスからは連絡事項が聞こえてくるが、ある日のこと、

「24HRとかけてボランティアに熱心な人」とく。その心は、どちらも「むきゅう(無給無休)」でがんばっています」

副担任の私は、廊下で笑ってしまった。欠席が人もいないから、無休なのだ。

今朝のホームルームでの出来事。昨夜、野球部で期末テストの勉強をしていたら、廊下のシャッターを閉められてしまった生徒が、開けてくれた先生にお礼を言いに来たことに対して、みんなの前で、ねぎらいの言葉をかけていた。四月には頭を垂れていた二、三人の生徒が六月には姿勢が良くなり、担任の先生を見つめている。彼らも先生に見つめられ、先生の意味のある言葉に気分がほぐれ、教室は朝から愛情が降り注ぐ、やさしい空間になっている。

教師の仕事は教壇に立ち生徒とかかわることだ。しかし今は、朝学と称し、教室に予備校教師の画面が映る。職員研修と題し、ドリルのようなアプリの説明会がある。ICT化に優れば、教員としての質が高くなるのだから

最近、英語の「進化」の語源を初めて知った。ラテン語のevolvereの原義は「ほぐれる。解き開く」という意味だそう。教育現場の「進化」は、原義からかなり遠くなっているような気がする。人として成長するための本当の「進化」が、教壇でこそ問われるべきだ。

初任校で使っていたマザーテレサを紹介する英文が載ったテキストが絶版になった。マザーの腕の中でホームレスの人が微笑みながら亡くなるシーンでは、涙を飲み込みながら読んだものだ。文学を扱う英語の教科書が減りつつある。深い意味ある言葉が失われていく。

小手先の技術を身につける勉強や、段取りの説明に追われ、教壇で生徒と交わされる心を繋ぐ意味のある深い言葉が、減らないように努めたい。

(静岡商業高校教諭 漆畑祐佳)